



生誕
130年

彫刻家 高村光太郎展

2013年

11月1日[金]—12月15日[日]

開館時間：10時—18時（入場は17時30分まで。11月9日（土）は21時までの夜間特別開館）

休館日：月曜日（ただし11月4日（月・祝）は開館し、翌5日（火）は休館）

観覧料：一般700円（560円） 高大生500円（400円） 小中学生300円（240円）

※（ ）内は20名以上の団体料金

※未就学児童、市内在住・在学の小中学生・高校生、市内在住の65歳以上の方、
各種障がい者手帳をお持ちの方と付き添い1名は無料。受付に証明証をご提示ください。

主催：碧南市藤井達吉現代美術館、碧南市、碧南市教育委員会

共催：NHK プラネット中部、朝日新聞社 後援：NHK 名古屋放送局

協力：高村光太郎連翹忌運営委員会 監修：高村規

碧南市藤井達吉現代美術館

HEKINAN CITY TATSUKICHI FUJII MUSEUM OF CONTEMPORARY ART

生誕130年

彫刻家・高村光太郎展



1. 高村光太郎《手》1918 個人蔵



2. 高村光太郎《蟬1》1924 個人蔵



3. 高村智恵子《くだものかご》部分 1937-38 個人蔵



4. 高村光太郎《白文鳥》1930 個人蔵



5. 荻原守衛《抗犬》1907 蔵山美術館蔵



6. 佐藤朝山《化猫》1928 個人蔵

高村光太郎(1883-1956)は、江戸末期から明治期に活躍した木彫家・高村光雲(1852-1934)の長男として東京・下谷に生まれ、幼い頃より後継者としての修練を与えられました。父から江戸時代そのままの指導方法によって木彫の基礎を学んだ光太郎は東京美術学校で木彫の他に塑造を学び、卒業後アメリカそしてフランスに留学します。

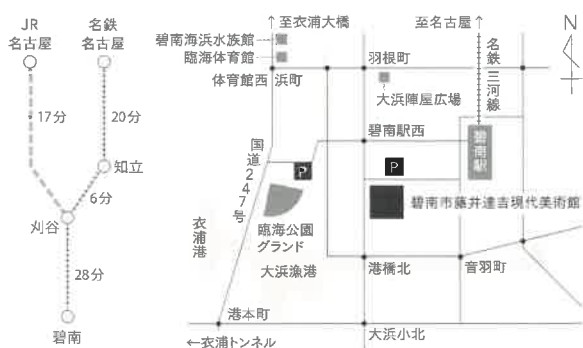
帰国後の光太郎の活動は、彫刻よりも文筆活動によって広く知られるようになります。日本最初のポスト印象派宣言とも、あるいはフォーヴィズムの先駆とも評される『緑色の太陽』(1910)に代表される評論、『道程』(1914)、『智恵子抄』(1941)などの詩業、そして『ロダンの言葉』(1916)といった翻訳は、芸術家である彼の存在を印象付けました。

その一方で光太郎は、彫刻の制作とその発表については慎重であり続けました。残念なことに1945年の空襲によって彼のアトリエは被災し、多くの彫刻作品がうしなわれ、彫刻家としてのあゆみは全体像が見えにくいものとなってしまいました。そして、疎開による環境の変化は、彫刻を制作する機会を妨げとなりました。しかし彫刻家の没後、戦災を免れた作品によって直ちに遺作展が開催され、今日に至るまで数多くの展覧会で彼の彫刻は近代日本を代表する作品として取り上げられています。

生誕130年の節目を迎えて開催される今回の展覧会では、光太郎の原点ともいえる木彫作品をはじめ、彼が参照したオーギュスト・ロダン(1840-1917)や同時代の荻原守衛(1879-1910)、佐藤朝山(1888-1963)などによる作品と、妻・智恵子(1886-1938)が制作した紙絵をあわせて展示します。本展が光太郎の彫刻作品を見直すきっかけとなるとともに、今日活発化している近代日本彫刻をめぐる研究のさらなる発展の機会となることを願います。

【交通案内】

◎名鉄本線「知立駅」乗り換え、名鉄三河線「碧南駅」下車、南西方向へ徒歩6分。
 ◎JR東海道本線と名鉄をご利用の場合：JR「刈谷駅」乗り換え、名鉄三河線「碧南駅」下車、南西方向へ徒歩6分。
 ◎知多半島道路・阿久比インターから車で約20分(衣浦大橋を渡って右折)
 ◎駐車台数に限りがありますので、公共交通機関をご利用ください。



関連イベント

- ①記念講演会1
 演題：「木彫家・高村光太郎」
 講師：土生 和彦(当館学芸員)
 日時：11月16日(土)14:00～15:30
 場所：大浜まちかどサロン(美術館向かい)
 定員：60名 聴講無料
- ②記念講演会2
 演題：「高村光太郎 造型に宿る生命の極性」
 講師：水沢 勉(神奈川県立近代美術館 館長)
 日時：11月23日(土)14:00～15:30
 場所：大浜まちかどサロン(美術館向かい)
 定員：60名 聴講無料
- ③ミュージアムコンサート
 光太郎の詩の世界を歌曲で味わってみませんか。当日は展覧会場も21時までの夜間特別開館となります。
 日時：11月9日(土)19:00～20:00
 会場：美術館1階ロビー
 作曲：野村 朗
 演奏：森山 孝光(バリトン) 森山 康子(ピアノ)
 曲目(予定)：歌曲「冬の言葉」(詩：高村光太郎)、
 連作歌曲「智恵子抄」(詩：高村光太郎)
 無料(展覧会場観覧には別途観覧料が必要です)
 定員100名
- ④ワークショップ
 「塑造に挑戦!光太郎の手を作ろう」
 彫刻家がつくった「手」の作品は、本物以上に表情豊かで迫力があります。自分の手と一日じっくり向かい合い、粘土で手をつくりましょう。
 ＊ワークショップで作った作品は持ち帰ることができます。ご了承ください。
 日時：12月1日(日)10:00～16:00
 講師：小島 雅生(造形作家・東海学園大学 准教授)
 対象：小学3年生～中学生 定員：10名
 場所：美術館地下1階創作室 参加費：500円
 持ち物：昼食、汚れてもよい服装

【申込方法】

①～④とも10月22日(火)10:00より受付を始め、定員になり次第締め切ります。電話にて①氏名②住所③電話番号④参加人数をお知らせください。

＊お申し込みに当たってお知らせいただいた個人情報は受講管理の目的のみに使用します。

○ギャラリートーク(担当学芸員による展示説明会)
 11月2日・9日・30日、12月7日・14日の土曜日、14:00から約30分
 ＊予約不要。観覧券をお持ちの上、2階ロビーにお集まりください。

HEKINAN CITY TATSUKICHI FUJII MUSEUM OF CONTEMPORARY ART



〒447-0847 愛知県碧南市音羽町一丁目1番地 | Email museum@city.hekinan.lg.jp
 TEL 0566-48-6602 FAX 0566-48-6603 | http://www.city.hekinan.aichi.jp/tatsukichimuseum/

次回企画展 画人・富岡鉄斎展 2013年12月25日(水)～2014年2月9日(日)